

広島都市圏の公共交通及びバス交通の現状と課題

1 広島都市圏における公共交通の現状と課題

公共交通の現状と課題

日常的な交通のマイカー依存の是正

- 通勤目的の自動車利用は4割と最も多い。また、買物目的の自動車利用が昭和62年と比較すると約2.5倍の約46%と大幅に増加。[参考資料 P1①]

物流・業務等の経済活動を支える交通は主として自動車等が担い、通勤・通学等の日常生活は主として公共交通等が担うという役割分担の下、日常的な交通のマイカー依存を是正する必要

高齢化の急速な進展

- 平成32年には、総人口の約3割が高齢者。[参考資料 P1②]
- 高齢者の移動目的では、買物・通院・私用が多く、手段では、公共交通や徒歩等が多い。[参考資料 P1②]

高齢者の移動手段を受け持つ公共交通サービスの維持・向上や、バリアフリー対策の一層の推進を図っていく必要

拡散型から集約型の都市構造への転換

- 本市では、無秩序な市街地の拡大を抑制し、公共交通にアクセスしやすい場所に、居住機能、医療、福祉等の生活サービス機能などを集積させる「集約型都市構造」への転換をめざしている。[参考資料 P2③]

都心や拠点地区の機能分担と都市機能の有効活用が図られるよう、公共交通の充実・強化に取り組む必要

都心への交通アクセス向上

- 多くの来訪者を本市に引き寄せることは、都市の活性化にとって重要な課題であり、都心への交通アクセスの向上等を図る必要。
- 他の都市に比べ、主要 JR 駅から都心までの所要時間が長い。[参考資料 P2④]

公共交通による都心へのアクセス強化や回遊性のにぎわいの創出など、「都市の顔」として都心の魅力づくりを支える交通環境の構築に取り組む必要

路面電車の定時性・速達性の確保

- 運行時間の概ね5割が停止時間で占められ、定時性・速達性に課題。[参考資料 P2④]

交通信号や交通渋滞等の影響を受け、定時性・速達性に課題があることから、公共交通サービスを充実・強化し、利便性向上に取り組む必要

都市の魅力づくりへの貢献

- 公共交通を利用して都心へ買物や私用で訪れる人は、滞在時間が長い傾向にある。[参考資料 P3⑤]
- 都心のにぎわいを創出する上で、公共交通の利便性向上は有効。

公共交通による都心へのアクセス強化や回遊性のにぎわいの創出など、「都市の顔」として都心の魅力づくりを支える交通環境の構築に取り組む必要

依然として多い中区への交通需要

- 各区の発生集中量は、人口が増加している安佐南区などでは増加しているが、旧市内の中区、東区などでは減少。[参考資料 P3⑥]
- また、依然として中区と周辺区との流動は多い。[参考資料 P3⑥]

郊外部相互の交通需要の増加、依然として多い都心部への交通需要など、各地域の特性や課題に応じて、効率的な公共交通サービスを提供していく必要

都心のバスの過密

- 都心にバスが乗り入れ、過密状態となっており、定時性、速達性に課題。[参考資料 P4⑦ア]

都心の過密状態の課題に対応し、利便性を確保しつつ、効率的な公共交通サービスを提供していく必要

郊外部における公共交通の確保

- 特に郊外の公共交通サービスが十分に行き届いていない地域において、公共交通の確保は重要な課題。[参考資料 P4⑦イ]

路線バスの安定的・継続的な維持や、路線バスのサービスが提供されていない郊外の団地など生活交通の不便な地域での移動手段の確保など、地域における生活交通の確保に向けて取り組む必要

めざすべき公共交通体系

[都市全体]

集約型都市構造を支える公共交通体系
(高齢社会への対応、マイカー依存の是正)

高齢者をはじめとする市民が過度に自動車に頼ることなく生活できる集約型都市構造の実現に向けて、それを支える公共交通体系の構築をめざす。

[都心]

都心の魅力づくりを支える公共交通体系

「都市の顔である」都心の魅力を高め、都心への来訪者の誘因を図るため、都心の魅力づくりを支える公共交通体系の構築をめざす。

[デルタ市街地]

効率的なサービスを提供する公共交通体系

路面電車やバスなど公共交通が充実しているデルタ市街地において、効率的なサービスを提供する公共交通体系の構築をめざす。

[郊外部]

安定的・継続的なサービスを提供する公共交通体系

郊外部の地域特性に応じて、安定的・継続的なサービスを提供する公共交通体系の構築をめざす。

公共交通体系のあり方

<取組方針>

1 都心と拠点地区を連携強化する公共交通ネットワークの形成

2 デルタ周辺の交通拠点から都心へのアクセス強化

3 デルタ内の移動の円滑化

4 持続可能な生活交通の確保

公共交通の充実・強化